日本学術会議　第26期
記者会見（令和7年2月27日）
資料3-3

（公財）農学会・日本農学アカデミー・日本学術会議育種学分科会　共同主催公開シンポジウム

気候変動下の食料生産の確保に向けた研究最前線

3/16日
2025年

〔会場〕東京大学農学部弥生講堂
（オンラインでも同時開催）

総合司会：　中嶋 康博
（日本学術会議第二部会員／東京大学大学院農学生命科学研究科教授／公益財団法人農学会常務理事）

13:00~13:05　開会挨拶：　丹下　健
（日本学術会議連携会員／東京大学特命教授／公益財団法人農学会会長）

13:05~13:40　**気候変動下の食料生産：日本の稲作への影響と適応を事例として**
長谷川 利拡
（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農業環境研究部門エクゼクティブリサーチャー）

13:40~14:15　**ゼロエミッション植物工場 ～植物工場の社会的・文化的な普及に向けて～**
林　絵理
（日本学術会議連携会員／特定非営利活動法人植物工場研究会理事長）

14:15~14:50　**作物による硝化抑制で地球環境にやさしい効率のよい食料生産を**
吉橋　忠
（国立研究開発法人国際農林水産業研究センター生物資源・利用領域 主任研究員）

14:50~15:05　――休憩15分――

15:05~15:40　**気候変動に応えるデータ駆動型育種：品種改良の新たな可能性**
岩田 洋佳
（日本学術会議連携会員／東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

15:40~16:15　**遺伝資源開発による高温・乾燥耐性コムギ育種への挑戦**
辻本　壽
（日本学術会議連携会員／鳥取大学名誉教授）

16:15~16:25　――休憩10分――

16:25~17:25　総合討論
司会進行：　磯部 祥子
（日本学術会議 第二部会員／東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

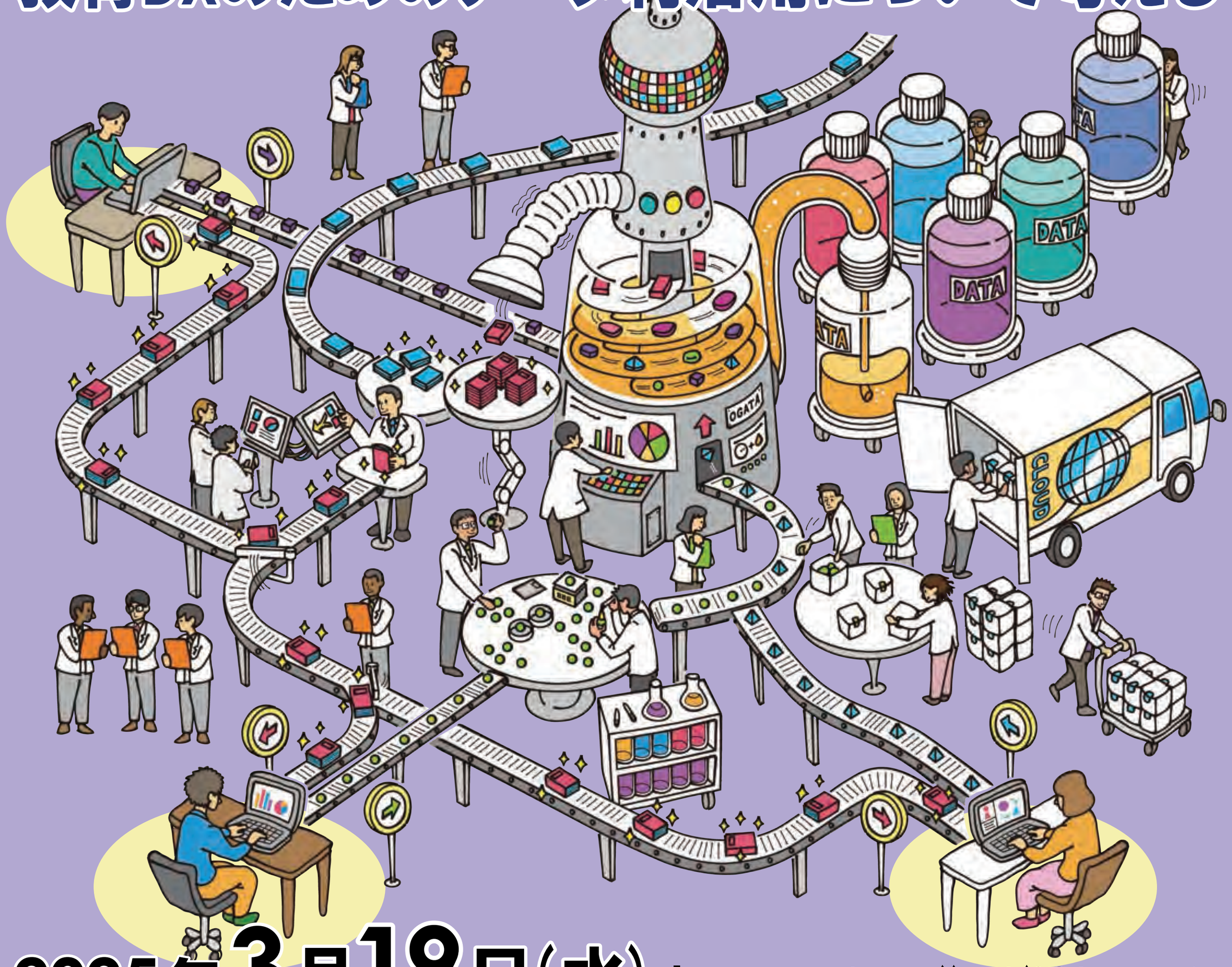
17:25~17:30　閉会挨拶　佐々木 昭博
（日本農学アカデミー副会長）

申し込みフォーム

主 催：（公財）農学会、日本農学アカデミー、日本学術会議育種学分科会
後 援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチジャパン　　問 合 先：zaidan@nougakkai.or.jp

日本学術会議公開シンポジウム

教育DXのためのデータ利活用について考える



2025年3月19日(水)

●13:00〜17:30（12:30受付開始）

京都大学学術情報メディアセンター南館
2階201講義室 / オンライン

Map

- WEB・・・https://x.gd/SCJsymposium
- 参加費・・・無料
- 参加申込・・・https://x.gd/qCTc4
- 申込締切・・・3月18日（火）

申し込みはこちらから

現地参加の場合、席に限りがございます。定員を超えた場合、先着順で参加申し込みを締め切らせていただく場合があります。早めの参加申し込みをお勧めします。

プログラム 司会：久富 望（京都大学大学院教育学研究科助教）

13:00 開会・趣旨説明
緒方 広明（日本学術会議連携会員、教育データ利活用分科会委員長、京都大学学術情報メディアセンター教授）
「教育データの利活用に関する提言と今後の展望について」

13:30 基調講演
木村 敬子
（文部科学省総合教育政策局参事官（調査企画担当）/教育DX推進室長）
「教育DXのためのデータ利活用に向けた文部科学省の取組」

14:00 基調講演
大野 彰子
（国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンター長（併）国際研究・協力部長）
「国立教育政策研究所教育データサイエンスセンターの取組と今後の方向性」

14:30 基調講演
岸本 充生
（日本学術会議連携会員、大阪大学D3センター教授／社会技術共創研究センター長）
「教育データ利活用におけるELSI（倫理的・法的・社会的課題）と対応アプローチ」

15:00 休憩

15:15 研究事例紹介（先端的な教育データの利活用の事例を紹介）
戸ケ﨑 勤（埼玉県戸田市教育委員会教育長）
「教育委員会におけるデータ利活用」
島田 敬士（九州大学大学院システム情報科学研究院教授）
「高等教育におけるデータ活用」
堀越 泉（京都大学学術情報メディアセンター助教）
「初等中等教育におけるデータ活用」
酒井 啓至（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育企画官）
「特別支援教育におけるデータ活用」

16:15 休憩

16:30 パネル討論
テーマ・教育データの利活用の将来について考える
司会：緒方 広明
（日本学術会議連携会員、教育データ利活用分科会委員長、京都大学学術情報メディアセンター教授）
<パネリスト>左記の発表者全員
<指定討論者>
堀田 龍也（東京学芸大学教職大学院教授）
前田 香織（広島市立大学 理事長補佐・最高デジタル責任者・特任教授）
美馬 のゆり（公立はこだて未来大学システム情報科学部教授）
美濃 導彦（国立研究開発法人理化学研究所 研究政策審議役／京都情報大学院大学副学長）

17:30 閉会
美馬 のゆり（公立はこだて未来大学システム情報科学部教授）

主催 日本学術会議 情報学・心理学・教育学委員会合同 教育データ利活用分科会
共催 京都大学学術情報メディアセンター緒方研究室 / 一般社団法人 エビデンス駆動型教育研究協議会
後援 京都大学学術情報メディアセンター

連絡先
京都大学学術情報メディアセンター緒方研究室
［Mail］contact@let.media.kyoto-u.ac.jp
［TEL］075-753-9052

Evidence Driven Education
科研費 KAKENHI
京都大学学術情報メディアセンター Academic Center for Computing and Media Studies, Kyoto University
京都大学 KYOTO UNIVERSITY

日本学術会議 第一部 政治学委員会主催　公開シンポジウム

未来を創る主権者教育

民主主義と地域社会の未来を創る次世代育成の場として「主権者教育」が注目されています。アカデミアでの議論・教育現場での実践・地域社会での取組みについて、専門家を招いて議論します。

開催日時：2025年3月19日（水）14－16時半
形式：オンライン（ZOOMウェビナー）

プログラム：
司会：堤　英敬（日本学術会議連携会員／香川大学教授）
報告：小玉重夫（日本学術会議連携会員、白梅学園大学・白梅学園短期大学学長）
「ポストポピュリズムの時代の主権者教育－デジタル空間において解放される観客としての市民」
討論：早川誠（日本学術会議第一部会員、立正大学教授）
報告：西川伸一（日本学術会議連携会員、明治大学教授）
「破いてみる、叩いてみる－体験的主権者教育授業の実践例」
討論：中谷美穂（日本学術会議連携会員、明治学院大学教授）
報告：松﨑亮太　（鳥取県選挙管理委員会事務局長）
「ちいわか総選挙－『決める』体験を通した小中学校における主権者教育」
討論：城山英明（日本学術会議第一部会員、東京大学教授）
挨拶：谷口尚子（日本学術会議第一部会員、慶應義塾大学教授）

参加費無料、3月17日（月）までに右記QRコードのフォームにてお申し込み下さい

公開シンポジウム
初等教育における世界的な視野の獲得について

【主催・共催】日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育・ESD 分科会、
公益社団法人日本地理学会地理教育専門委員会
【後援】地理学連携機構

【日時】令和７年(2025 年)3月 20 日(木・祝)9:00～12:00
【場所】駒澤大学(東京都世田谷区駒沢 1-23-1　駒沢キャンパス)

【一般参加】　可(どなたでも参加いただけます)　　参加費:無料

【プログラム】
オーガナイザー:井田仁康・村山朝子・由井義通
総合司会:由井義通

9:00～9:10　開会挨拶・趣旨説明
井田　仁康(筑波大・名誉)・由井　義通(広島大)・村山　朝子(茨城大・名誉)
9:10～10:25　報告　(各 15 分)
1. 村山朝子(茨城大・名誉):小・中学校における「世界の学習」の変遷と現在
2. 秋本弘章(獨協大):小中高を通じた世界地理学習の課題
3. 阪上弘彬(千葉大):初等地理教育における「世界」の学習―イギリス地理科、ドイツ事実教授の場合―
4. 中谷佳子(千葉大学附属小):小学校における世界の学習状況
5. 中澤高志(明治大)・久木元美琴(京都大):国際理解教育の社会実装について考えるために―「多文化共生都市」別府における２つの個人的経験―

10:25～10:50　休憩

10:50～11:30　コメント(指定討論者)(各 10 分)
1. 小長谷有紀(国立民族学博物館・名誉、文化人類学):文化人類学の立場からの世界の学習
2. 佐藤真久(東京都市大、国際理解教育・ESD):国際理解教育・ESD の立場からの世界の学習
3. 田山享子(共栄大、英語教育学):英語教育の立場からの世界の学習
4. 三橋浩志(文部科学省):最近の教育改革の動向と「小学校・世界の学習」の関係

11:30～12:00　質疑応答・パネル討論質疑応答・パネル討論

※発表要旨は右の QR コードからダウンロードしてください

【問い合わせ先】(電子メールにてお問い合わせください)
広島大学　由井義通　yyui@hiroshima-u.ac.jp

公開シンポジウム

人間にとって学習とは何か？

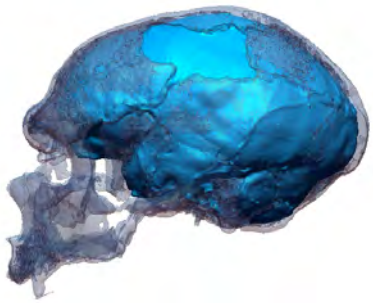
人はなぜ学び続けるのか？　なぜ「勉強したくない」と思ってしまうのか？
学習と教育の重要性が高まる今、人類学の多様な視点からその本質を問う

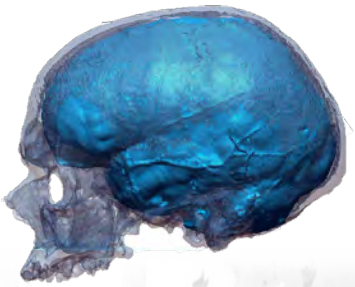
2025年３月20 日（木・祝）13:00～16:30

参加方法　①対面：東京大学理学部２号館講堂（東京都文京区）
②オンライン

参加無料・要事前登録

どなたでもご参加いただけます
参加登録はこちら（3/16まで）→





話題提供 【人間にとって学習とは何か？】

霊長類学の視点から	香田 啓貴（東京大学）
行動進化の視点から	井原 泰雄（東京大学）
化石形態学の視点から	荻原 直道（東京大学）
成長学の視点から	山内 太郎（北海道大学）
文化･歴史的発達の視点から	高田 明（京都大学）
人類史の視点から	松本 直子（岡山大学）

総合討論　【教育現場との交差：「勉強したくない」という気持ちの謎】

教育現場より	西田 淳（奈良女子大学附属小学校）
総合討論	

主　催：日本学術会議統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同自然人類学分科会
後　援：日本人類学会、日本霊長類学会、日本文化人類学会、日本人間行動進化学会
日本日本生理人類学会、日本成長学会
連絡先：gakushusympo2025@gmail.com

人はなぜ学び続けるのでしょう？　学習と教育の重要性が高まる今、人類学の多様な視点からその本質を問うために、本シンポジウムを企画しました。

成長期のみならず人生を通じた個人の学習、そしてそれを支える体系化された社会の教育システムは、現代の常識となっています。しかし過去を振り返ればその起源は意外に浅く、世界を見渡せばそのあり方も実に多様であることがわかります。それでは、私たちはなぜ、どのように「多くを学び続ける存在」になったのでしょう？　この大きな疑問に迫るため、6人の専門家がそれぞれの視点で語ります。さらにそこから学校教育現場へどのような示唆が得られるのかを、討論します。

プログラム

13:00 開会挨拶
村山 美穂（京都大学野生動物研究センター）

13:10 話題提供「人間にとって学習とは何か？」
司会　松本 晶子（琉球大学国際地域創造学部）

① 霊長類学の視点から：同調・伝染から模倣・協力へ至る社会学習の生物学的基盤
香田 啓貴（東京大学大学院総合文化研究科）

② 行動進化の視点から：社会学習の起源と帰結
井原 泰雄（東京大学大学院理学系研究科）

③ 形態学の視点から：ヒトの大脳化と学習の起源と進化
荻原 直道（東京大学大学院理学系研究科）

④ 成長学の視点から：カラダ・アタマ・ココロのせめぎあい
山内　太郎（北海道大学大学院保健科学研究院）

⑤ 文化・歴史的発達の視点から：遊び、学習、労働をつなぐ社会的基盤
高田　明（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

⑥ 人類史の視点から：文明と学習
松本 直子（岡山大学文明動態学研究所）

15:30 総合討論「教育現場との交差」:「勉強したくない」という気持ちの謎
司会　海部 陽介（東京大学総合研究博物館）

⑦ 教育現場より：自律的に学ぶ子どもを育てる～自分らしい学びの創造～
西田 淳（奈良女子大学附属小学校副校長）

16:25 閉会挨拶
宮路 淳子（奈良女子大学研究院人文科学系）

日本学術会議　公開講演会・シンポジウム等ウェブサイト
https://www.scj.go.jp/ja/event/index.html

入場無料

日本学術会議 公開シンポジウム
第95回日本衛生学会学術総会 市民公開講座

環境リスクと正義

(司会)上田 佳代*(北海道大学大学院医学研究院 教授)　　*日本学術会議連携会員
中村 桂子*(東京科学大学大学院国際保健医療事業開発学分野 教授)

❖開会挨拶:中村 桂子*

❖基調講演:宇佐美 誠* (京都大学大学院地球環境学堂 教授)

[プラネタリー・ジャスティス]

❖パネルディスカッション: プラネタリーヘルス,環境リスク管理の視点から

◇鹿嶋 小緒里*(広島大学IDEC国際連携機構プラネタリーヘルス・イノベーションサイエンスセンター(PHIS) センター長)
・ベトナム山岳地域における気候変動と健康

◇春日 文子*(長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科／プラネタリーヘルス学環 教授)
・プラネタリーヘルスダイエットへの取り組み

◇藤井 健吉*(花王株式会社研究開発部門 研究主幹／研究戦略・企画部 部長)
・国際的な化学物質管理

◇宇佐美 誠*

❖閉会挨拶:橋爪 真弘* (東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 教授)

2025年
3月21日(金)
15:30 - 17:00

ソニックシティホール 2階 小ホール
(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)
大宮駅より徒歩3分

アクセス:
(https://www.sonic-city.or.jp/access.html)
参加方法:現地参加のみ(会場に直接お越しください)
お問合せ:シンポジウム事務局
(whocc.ith@tmd.ac.jp)

持続可能な開発目標では人の健康やウェルビーイングの公正性の実現を目指していますが,環境リスクによりもたらされる影響は一律ではなく,特定の集団に対して不均等に降りかかることが多くなっています.特に社会的・経済的に弱い立場にある人々は,より大きく深刻な影響を受ける可能性があり,環境正義の観点から緊急の課題とされています.環境リスクと人間の健康やウェルビーイング,生態系の健全性を考えるなかで,地域間の格差やそれをめぐる責任について正義の観点からの議論について理解を深め,人類が直面する環境リスクに世界の様々な立場の人と立ち向かうにあたって必要な視点について考えます.

[主催] 日本学術会議環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会
第95回日本衛生学会学術総会
[共催] プラネタリーヘルスアライアンス 日本ハブ

公開シンポジウム「国際競争力向上の戦略」
の開催について

１．主　催：日本学術会議電気電子工学委員会　通信・電子システム分科会
２．共　催：電子情報通信学会
３．後　援：なし
４．日　時：令和７年（2025 年）3 月 25 日（火）：13：45～17：00
５．場　所：東京都市大学６１C（会場（東京都 世田谷区 玉堤 1-28-1）
６．一般参加の可否：可
　一般参加者の参加費の有無：無
７．分科会等の開催：開催予定なし
８．開催趣旨：
　通信・電子システムの重要性は、産業としてだけではなく、国際安全保障上もその重要性は大きくなったが、日本の世界競争力は OECD 最下位に甘んじている。この問題を打開するのは、簡単な施策では難しく、国の施策にリンクさせて、企業の競争力、アカデミアのレベルアップ、人材育成、といった、産官学の連携による一体となった努力が必要と考える。本シンポジウムでは、国の政策立案のキーパーソン、産業界のキーパーソン、学会の責任者、学術会議でのリーダ、アカデミックのオピニオンリーダによる戦略立案をめざす。
９．次　第：
13：45　開会挨拶：三瓶　政一（日本学術会議第三部会員／大阪大学名誉教授）
　　今井　尚樹（KDDI 株式会社企画戦略室室長）
13：50　第１部「講演セッション」
（１）特別講演１「総務省がねらう情報通信のグローバル化戦略（仮)」
　竹村　晃一（総務省国際戦略局局長）
（２）特別講演２「NICT が目指す国際化戦略　JUNO を中心として（仮)」
　徳田　英幸（国立研究開発法人情報通信研究機構理事長）
（３）特別講演３「JST が進める国際ネットワーキング施策、ASPIRE」
　小林　治　（国立研究開発法人科学技術振興機構 JST 国際部部長）
（４）講演１「ローカルなグローバルを目指す、電子情報通信学会の国際化戦略（仮)」
　山中　直明（日本学術会議連携会員／慶應義塾大学理工学部情報工学科教授／電子情報通信学会会長）
　大橋　弘美（日本学術会議第三部会員／古河電気工業株式会社シニアフェロー／電子情報通信学会副会長）
（５）講演２「情報通信分野を中心に捉えた産業化追求型（価値獲得型）研究開発プロジェクトの推進（仮)」
　森川　博之（日本学術会議連携会員／東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授）

（６）講演３「IOWN, NTT が進めるグローバル（仮)」
川添　雄彦（日本電信電話株式会社副社長）

15:55 第２部「パネル討論」
テーマ：「情報通信に関する国際競争力向上の戦略とは」
モデレータ：大山りか（株式会社 ON BOARD 代表取締役）
中尾　彰宏（日本学術会議連携会員／東京大学大学院工学系研究科教授）
パネリスト：山中　直明（日本学術会議連携会員／慶應義塾大学理工学部情報工学科教授／電子情報通信学会会長）
森川　博之（日本学術会議連携会員／東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授）
川添　雄彦（日本電信電話株式会社副社長）
女性起業家３名（予定、現在交渉中）
17:00　　終了予定

日本学術会議　公開シンポジウム

睡眠・冬眠と体内時計

～生物リズムの進化から未来社会を考える～

オンライン開催
Zoom ウェビナー
参加登録は QR コード
あるいは下記 URL
（3/25 まで）

日時：2025 年 3 月 29 日（土）
13:00～15:50

どなたでも参加いただけます
（参加無料）

司会：
安尾しのぶ（九州大学大学院農学研究院 教授）
志賀向子（大阪大学理学研究科 教授）
モデレーター：
遠藤求（奈良先端科学技術大学院大学 教授）

プログラム

13:00 開会の挨拶
深田吉孝（東京大学・名誉教授／東京都医学総合研究所・客員研究員）

13:05 シンポジウム企画の説明

13:10 体内時計 35 億年の進歩と調和～ヒトの未来社会へむけての提言
重吉康史（近畿大学医学部 教授）

13:35 睡眠の遺伝子を求めて～朝型・夜型遺伝子とショートスリーパー遺伝子の発見
平野有沙（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構）

14:00 ヒヒも悩む？ 安全と快適な眠りの進化的妥協
松本晶子（琉球大学国際地域創造学部教授）

休憩（14:25- 14:35）

14:35 トカゲの眠りから探る睡眠の進化とメカニズム
乗本裕明（名古屋大学大学院理学研究科教授）

15:00 睡眠と冬眠：" 眠り " の進化と未来
櫻井武（筑波大学医学医療系国際統合睡眠医科学研究機構・教授／副機構長）

15:25 視聴者との質疑応答

15:45 閉会の挨拶
尾崎紀夫（名古屋大学大学院医学研究科・教授）

主催：日本学術会議生物リズム分科会
共催：日本時間生物学会、日本睡眠学会
連絡先：公開シンポジウム「睡眠・冬眠と体内時計」事務局
metab.behav@gmail.com
参加登録フォーム：https://forms.gle/5j3UTm7EZ6A7TVAP7